



民謡に合わせて踊りを披露する郷土芸能部の部員たち

田植えねぎらい豊作祈る

大曲農高で「早苗振」

郷土芸能部員、踊り披露

大仙市の大曲農業高校（高橋司校長）で3日、

田植えの勞をねぎらい豊作を祈る恒例行事「早苗振」が行われた。全校生徒約450人が参加し、吹奏楽演奏や民謡ステージを鑑賞した。

農業クラブ会長の島田颯太さん（3年）が「自然の恵みに感謝し、土に触れ、命の大切さを知るといふ、他校では得られない学びが大農にはある。日々の活動を楽しみ、有意義に過ごしてほしい」とあいさつ。吹奏楽

部が演奏したほか、同校卒業生が講話した。

芸術鑑賞では同校卒業生の民謡歌手・山上衛さんが「生保内節」「秋田音頭」などを唄い上げた。同校郷土芸能部とのコラボレーションでは、「秋田田植え踊り唄」「秋田おぼこ節」に合わせて部員が踊りを披露した。

早苗振は田植え作業が一段落するこの時期に毎年行っており、今年で73回目。

（三浦ちひろ）